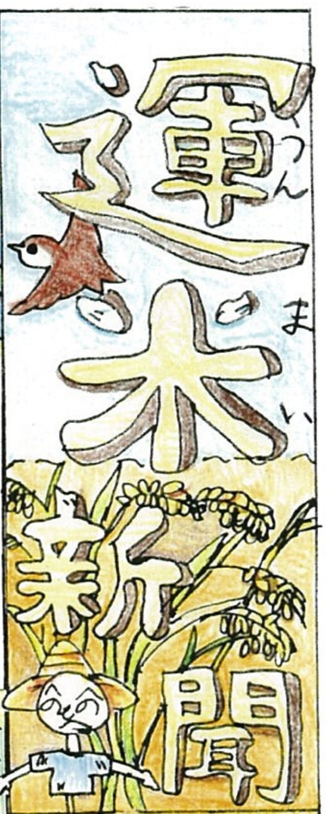
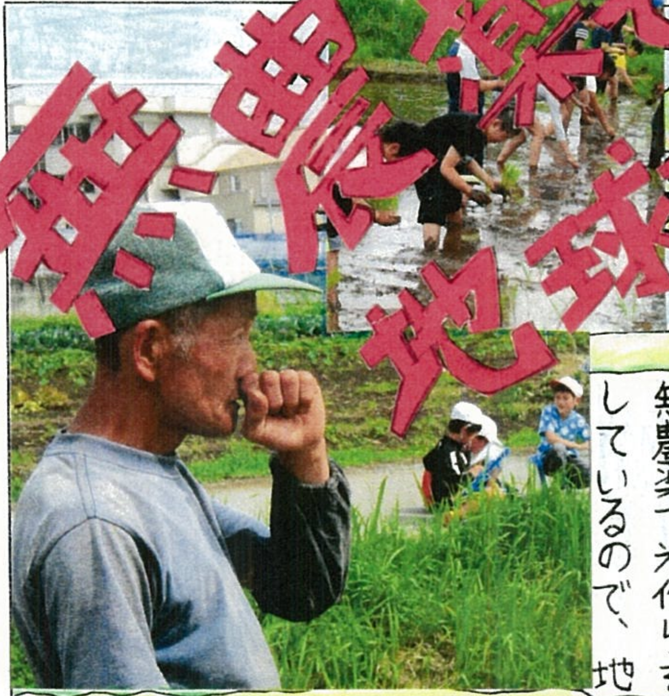
運米（うんまい）新聞



新里東小学校
5年1組　山崎加琳
鹿目梨桜・石原桃子
栗原帆乃花・市川瑛夢
平成26年12月15日発行

無農薬で地球を守る



米作り体験でeco学習

新里東小では、五年生になると総合的な学習で米作りを体験します。その時に指どうしてくださるのは近くで農家をやっている宮田さんです。宮田さんは、無農薬で米作りをしているので、地球環境のことを考える勉強にもなりました。

そこで私たちは、さらに「環境を考えた農業」のことについて調べました。

学習の最後に「地球を守る米作り発表会」と「宮田さんに感謝する会」をひらきました。

楽しかったよ！

宮田さんにインタビュー

Q無農薬が地球に優しい訳は何ですか。

A化学物質を使わないので絶対に安全です。また小さな生き物達を殺しません。

Q無農薬米ポイントを教えて下さい。

A水にEM菌を入れていい苗を作ることです。EM菌で土に力をつけると苗に病気が出ず、害虫も防げます。

田んぼがピンチ！

農家が減って、作物を作らなくなった田が増えてきました。耕作をやめると土があれて、もとの田にもどすのは大変です。新里町でも田が家にかわってきています。原因の一つは米を食べる量が減っていることです。みなさんお米をたくさん食べて田んぼを守りましょう。

米作りは土作り
環境にやさしいEM菌

EM菌はいい微生物の固まりです。土をくさらせる悪い菌を殺ろして土や水をきれいにします。

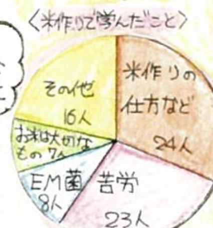
プールに入れて水をきれいにしています。米作りでは土にまぜると農薬を使わずに、おいしいお米が作れます!!

わたしたちが学んだこと

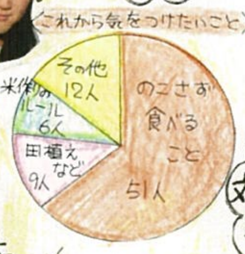
五年生全員にアンケートしました。グラフを見ると米作りを通して、たくさんのことを学べたことが分かります。

私は米作りで、エコも学べて良かったです。

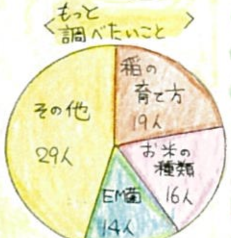
この新聞をみて、もっとエコに興味をもってほしいです。


〈米作りで学んだこと〉

のこさず食べることはエコにつながるのでいいことですね


〈これから気をつけたいこと〉

謝　お米に対する感謝の気持ちが深まったよ。


〈もっと調べたいこと〉

（5年生78名対象）

きれいな水に生きる虫たち

今まで農薬を作っていたので虫がへっていました。その中でも、とくにへっているのがタガメ、ゲンゴロウ、メダカなどの絶滅危惧種です。でも宮田さんの田んぼはタガメ、ゲンゴロウ、メダカも喜ぶecoな田んぼ作りをめざしています。二年生は宮田さんの田んぼのヤゴをかったり、虫の観察をしたりしています。

2の1で飼っているヤゴ

編集後記

幸運を呼ぶ米作りと群馬で「おいしい」という意味の「うんまい」をかけて、「運米（うんまい）新聞」にしました。

農家の宮田さんは花や草、動物などの生き物に関心をもってほしいと言っていました。それは、環境を大切にすることになるそうです。生き物を大切にすることは、命を大切にすることにつながりそれがエコの原点だと思いました。

山崎加琳

無農薬米は、栄養があっておいしいよ。